

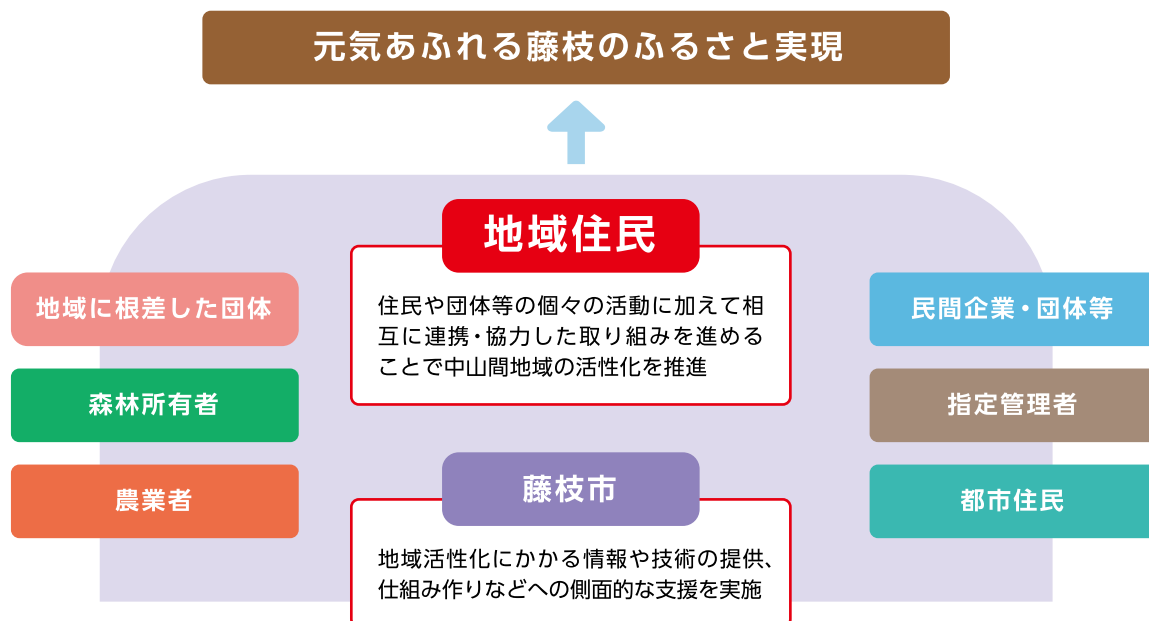
第4章 計画の推進体制

1 計画の推進体制

1 計画の推進体制

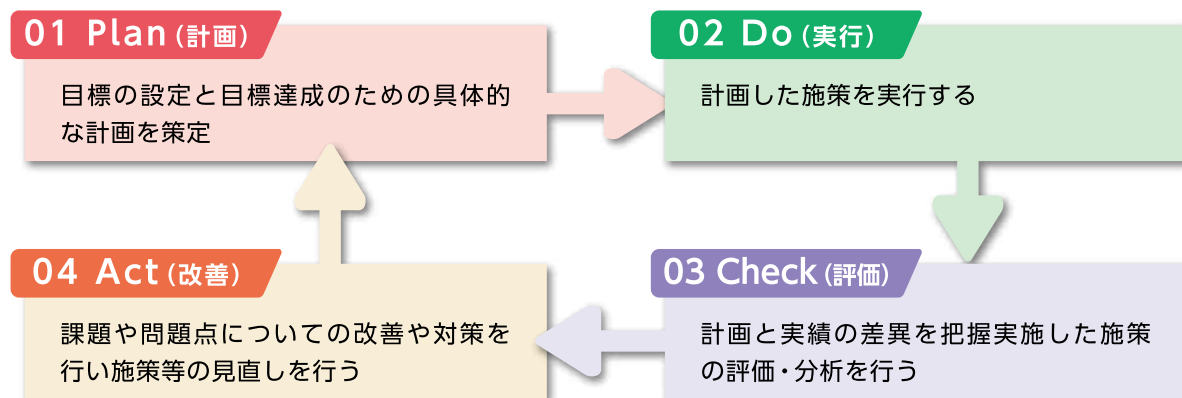
本計画の推進にあたっては、地域住民の主体的な地域づくりを、都市住民、関係団体、行政等が連携して、協働により取り組みを進めていきます。

■推進体制イメージ



2 進管理

本計画の理念である「元気あふれる藤枝のふるさと」を総合的に推進するため、庁内各課と連携を図りながら取り組みを進め、PDCAサイクルによる計画の進管理を行います。



資料編

1 計画対象区域内の人口の動向

①人口の推移

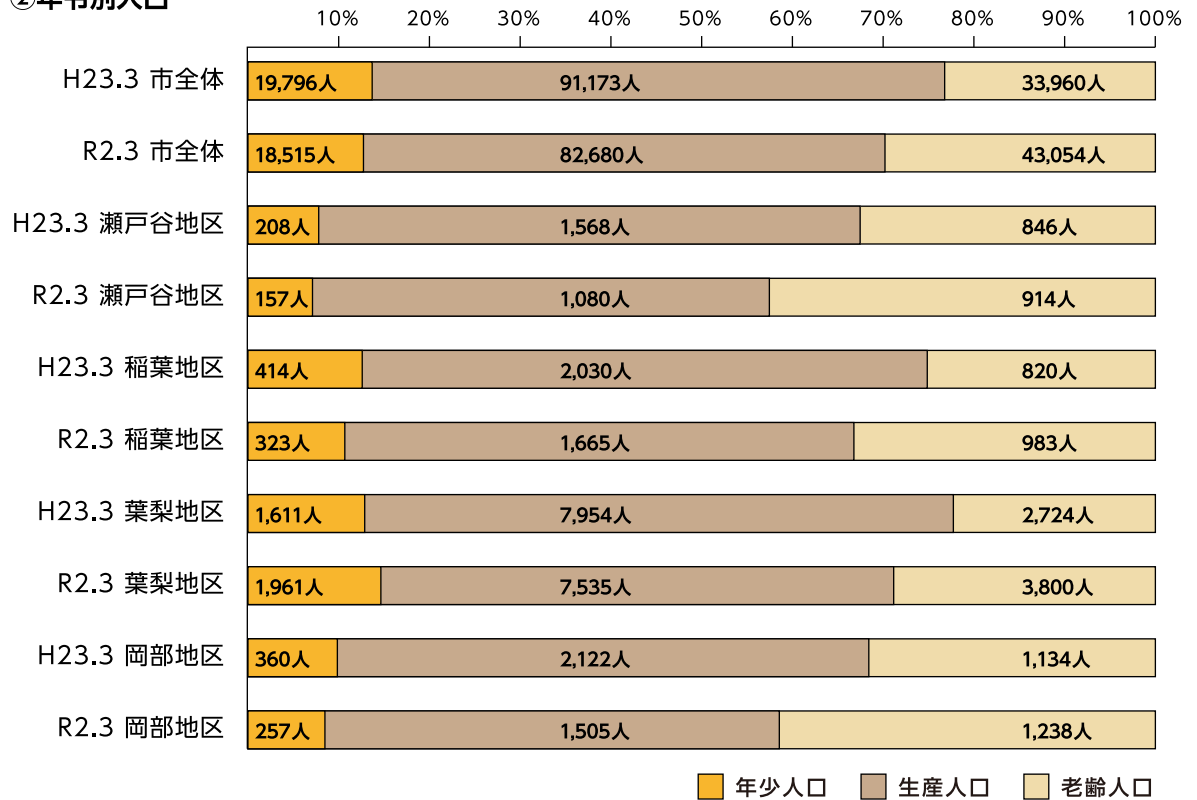
(単位：人)

区分	H23.3	H24.4	H25.3	H26.3	H27.3
市全体	144,929	145,459	146,214	146,459	146,427
	100.0%	100.4%	100.9%	101.1%	101.0%
中山間地域全体	12,897	12,929	12,530	12,392	12,216
	100.0%	99.8%	97.2%	96.1%	94.7%
瀬戸谷	2,622	2,538	2,489	2,431	2,379
	100.0%	96.8%	94.9%	92.7%	90.7%
稲葉	3,264	3,237	3,166	3,199	3,166
	100.0%	99.2%	97.0%	98.0%	97.0%
葉梨	12,289	12,561	12,960	13,267	13,420
	100.0%	102.2%	105.5%	108.0%	109.2%
岡部	3,616	3,516	3,456	3,381	3,305
	100.0%	97.2%	95.6%	93.5%	91.4%

区分	H28.3	H29.3	H30.3	H31.3	R2.3
市全体	146,530	146,233	145,789	144,941	144,249
	101.1%	100.9%	100.6%	100.0%	99.5%
中山間地域全体	11,999	11,762	11,543	11,367	11,173
	93.0%	91.2%	89.5%	88.1%	86.6%
瀬戸谷	2,336	2,291	2,261	2,197	2,151
	89.1%	87.4%	86.2%	83.8%	82.0%
稲葉	3,141	3,082	3,056	3,033	2,971
	96.2%	94.4%	93.6%	92.9%	91.0%
葉梨	13,454	13,475	13,383	13,388	13,296
	109.5%	109.7%	108.9%	108.9%	108.2%
岡部	3,238	3,179	3,088	3,042	3,000
	89.5%	87.9%	85.4%	84.1%	83.0%

出典：住民基本台帳

②年令別人口



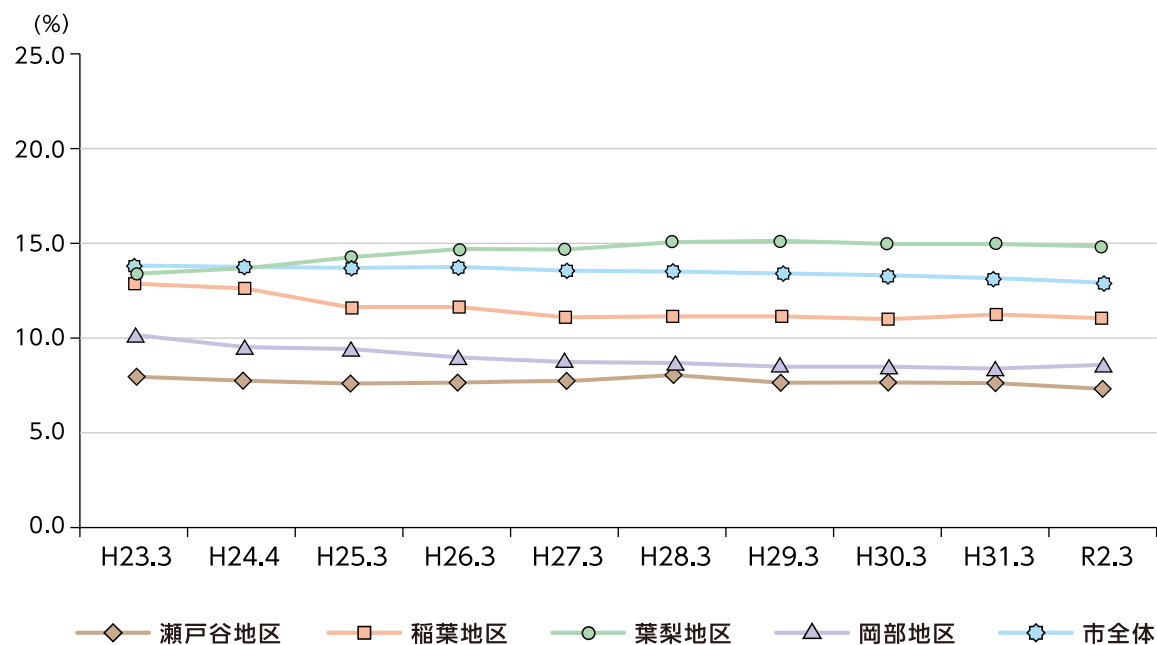
(単位: 人)

区分		市全体	瀬戸谷地区	稲葉地区	葉梨地区	岡部地区
年少人口	H23.3	19,796(13.7%)	208(7.9%)	414(12.7%)	1,611(13.1%)	360(10.0%)
	R2.3	18,515(12.8%)	157(7.3%)	323(10.9%)	1,961(14.7%)	257(8.5%)
	増減	▲0.9%	▲0.6%	▲1.8%	1.6%	▲1.5%
生産人口	H23.3	91,173(62.9%)	1,568(59.8%)	2,030(62.2%)	7,954(64.7%)	2,122(58.7%)
	R2.3	82,680(57.3%)	1,080(50.2%)	1,665(56.0%)	7,535(56.7%)	1,505(50.2%)
	増減	▲5.6%	▲9.6%	▲6.2%	▲8.0%	▲8.5%
老齡人口	H23.3	33,960(23.4%)	846(32.3%)	820(25.1%)	2,724(22.2%)	1,134(31.3%)
	R2.3	43,054(29.9%)	914(42.5%)	983(33.1%)	3,800(28.6%)	1,238(41.3%)
	増減	6.5%	10.2%	8.0%	6.4%	10.0%

出典: 住民基本台帳

※年少人口は0～14歳、生産人口は15～64歳、老齡人口は65歳以上

③年少人口比率の推移

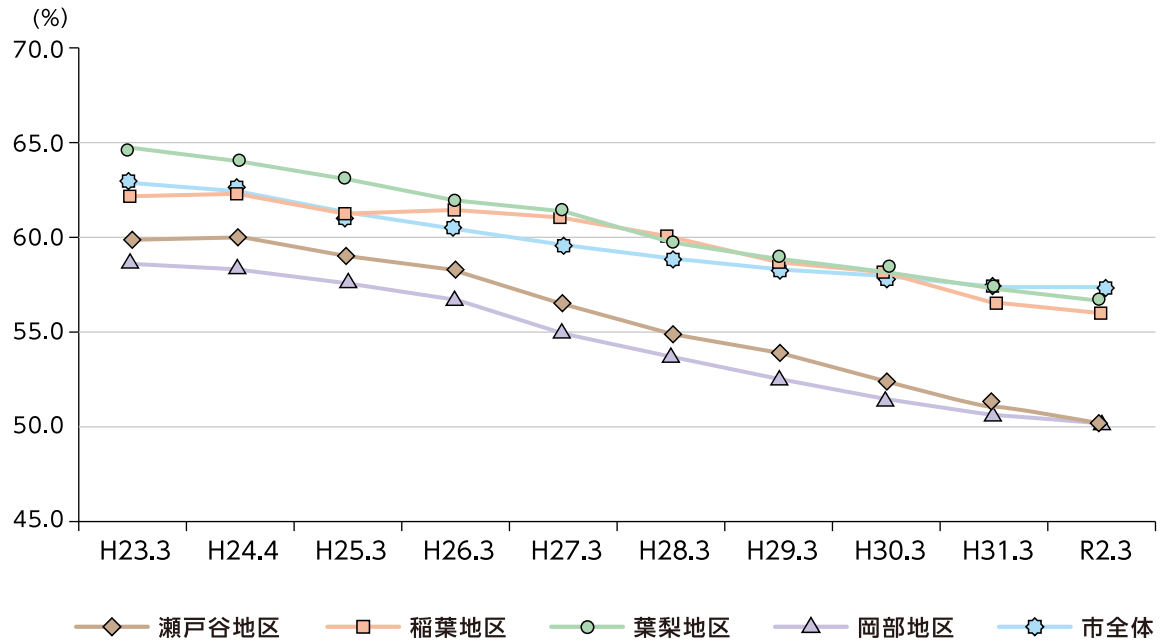


上段(単位:人) 下段(単位:%)

区分	H23.3	H24.4	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3	H30.3	H31.3	R2.3
瀬戸谷	208	195	187	184	184	187	173	171	168	157
	7.9	7.7	7.5	7.6	7.7	8.0	7.6	7.6	7.6	7.3
稲葉	414	405	365	368	347	350	341	331	337	323
	12.7	12.5	11.5	11.5	11.0	11.1	11.1	10.8	11.1	10.9
葉梨	1,611	1,716	1,819	1,917	1,964	2,006	2,015	1,980	1,980	1,961
	13.1	13.7	14.0	14.5	14.6	14.9	15.0	14.8	14.8	14.7
岡部	360	334	322	300	289	275	267	255	249	257
	10.0	9.5	9.3	8.9	8.7	8.5	8.4	8.3	8.2	8.5
市全体	19,796	19,817	19,901	19,879	19,678	19,619	19,500	19,155	18,882	18,515
	13.7	13.6	13.6	13.6	13.4	13.4	13.3	13.1	13.0	12.8

出典: 住民基本台帳

④生産年齢人口比率の推移

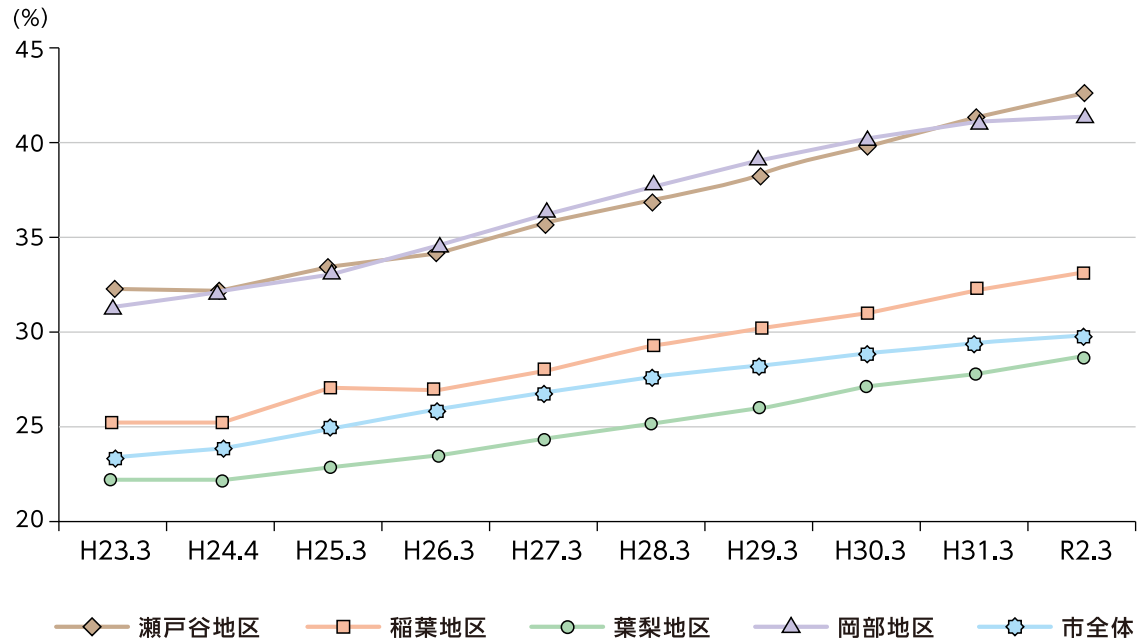


上段(単位:人) 下段(単位:%)

区分	H23.3	H24.4	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3	H30.3	H31.3	R2.3
瀬戸谷	1,568	1,526	1,472	1,418	1,347	1,284	1,237	1,188	1,126	1,080
	59.8	60.1	59.1	58.3	56.6	55.0	54.0	52.5	51.3	50.2
稲葉	2,030	2,016	1,946	1,968	1,934	1,875	1,808	1,777	1,718	1,665
	62.2	62.3	61.5	61.5	61.1	59.7	58.7	58.2	56.6	56.0
葉梨	7,954	8,047	8,172	8,218	8,198	8,057	7,937	7,776	7,696	7,535
	64.7	64.1	63.1	61.9	61.1	59.9	58.9	58.1	57.5	56.7
岡部	2,122	2,052	1,990	1,921	1,817	1,743	1,673	1,595	1,543	1,505
	58.7	58.4	57.6	56.8	55.0	53.8	52.6	51.6	50.7	50.2
市全体	91,173	90,935	89,821	88,640	87,434	86,475	85,385	84,543	83,385	82,680
	62.9	62.5	61.4	60.5	59.7	59.0	58.4	58.0	57.5	57.3

出典：住民基本台帳

⑤ 高齢人口比率の推移



上段(単位:人) 下段(単位:%)

区分	H23.3	H24.4	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3	H30.3	H31.3	R2.3
瀬戸谷	846	817	830	829	848	865	881	902	903	914
	32.3	32.2	33.4	34.1	35.7	37.0	38.4	39.9	41.1	42.5
稲葉	820	816	855	863	885	916	933	948	978	983
	25.1	25.2	27.0	27.0	27.9	29.2	30.2	31.0	32.3	33.1
葉梨	2,724	2,798	2,969	3,132	3,258	3,391	3,523	3,627	3,712	3,800
	22.2	22.2	22.9	23.6	24.3	25.2	26.1	27.1	27.7	28.6
岡部	1,134	1,130	1,144	1,160	1,199	1,220	1,239	1,238	1,250	1,238
	31.3	32.1	33.1	34.3	36.3	37.7	39.0	40.1	41.1	41.3
市全体	33,960	34,707	36,492	37,940	39,315	40,436	41,317	42,023	42,674	43,054
	23.4	23.9	25.0	25.9	26.8	27.6	28.3	28.8	29.4	29.8

出典：住民基本台帳

2 農林業の動向

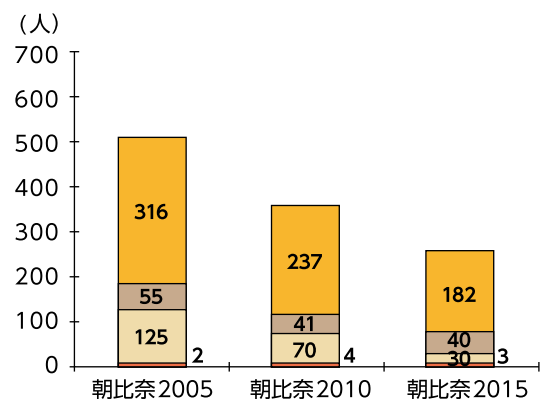
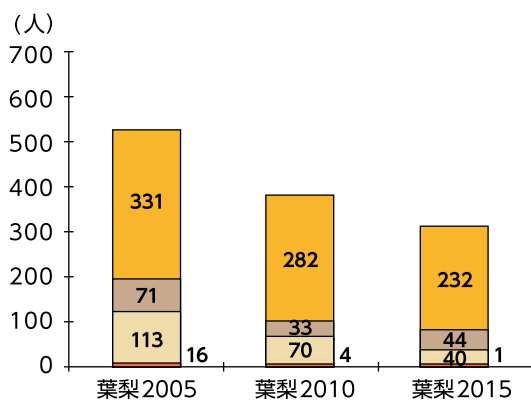
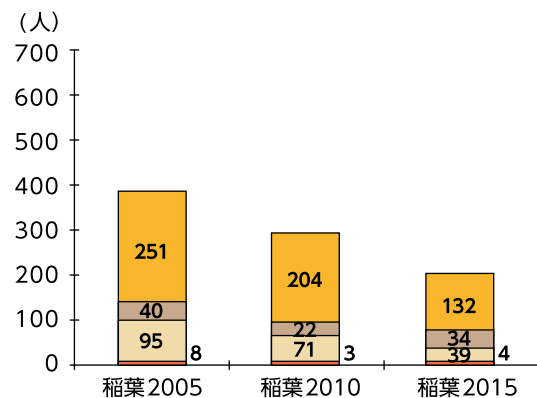
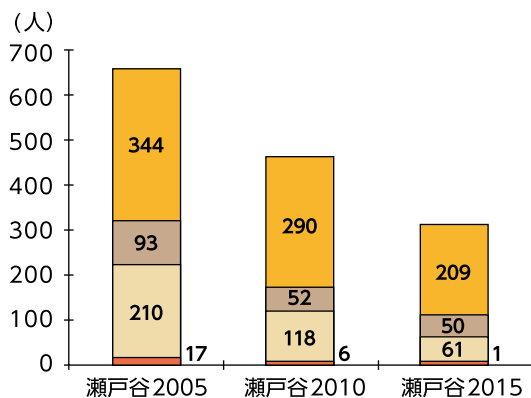
① 農業就業人口

(単位：人)

	瀬戸谷			稲葉		
	2005年	2010年	2015年	2005年	2010年	2015年
農業就業人口	664	466	321	394	300	209
15～29歳	17	6	1	8	3	4
30～59歳	210	118	61	95	71	39
60～64歳	93	52	50	40	22	34
65歳～	344	290	209	251	204	132

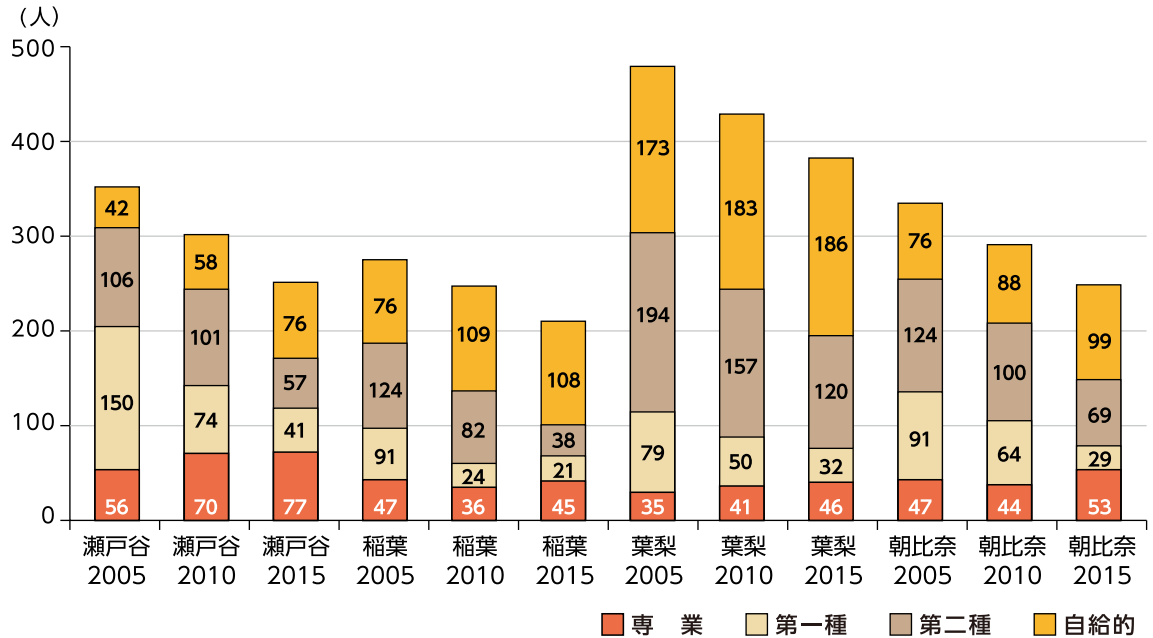
	葉梨			朝比奈		
	2005年	2010年	2015年	2005年	2010年	2015年
農業就業人口	531	389	317	498	352	255
15～29歳	16	4	1	2	4	3
30～59歳	113	70	40	125	70	30
60～64歳	71	33	44	55	41	40
65歳～	331	282	232	316	237	182

出典：2005・2010・2015年農林業センサス結果



■ 15～29歳 ■ 30～59歳 ■ 60～64歳 ■ 65歳～

②専業別農家数



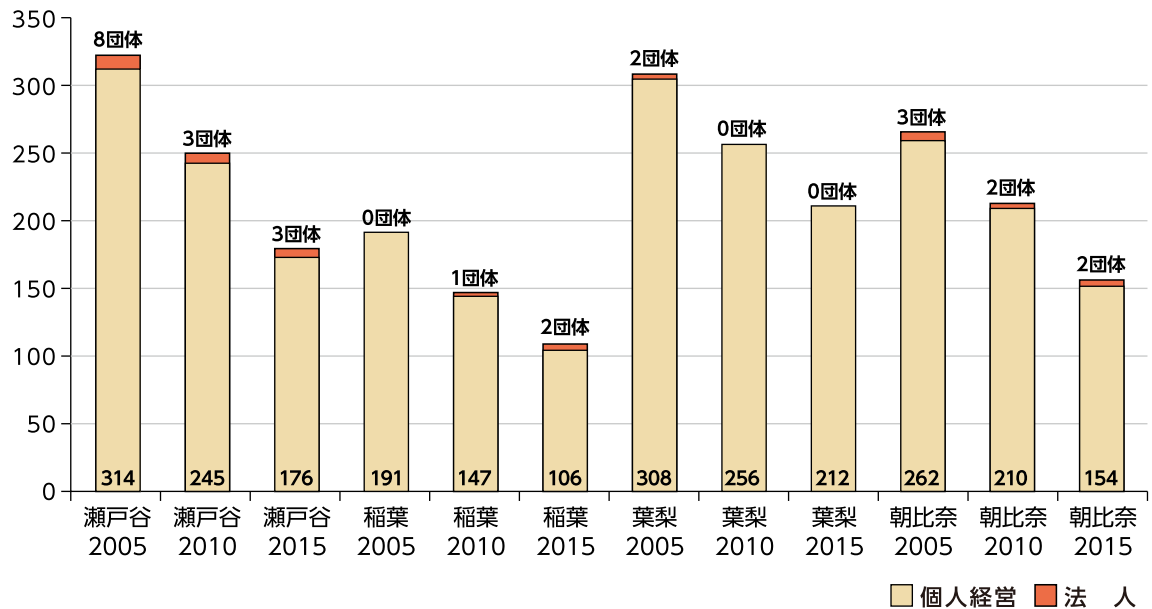
区分	市全体			瀬戸谷地区			稲葉地区		
	2005年	2010年	2015年	2005年	2010年	2015年	2005年	2010年	2015年
専業農家数	355	344	400	56	70	77	47	36	45
第一種兼業農家数	550	348	216	150	74	41	91	24	21
第二種兼業農家数	1,300	1,112	779	106	101	57	124	82	38
自給的兼業農家数	1,170	1,243	1,222	42	58	76	76	109	108
総農家数	3,375	3,047	2,617	354	303	251	338	251	212

区分	葉梨地区			朝比奈地区		
	2005年	2010年	2015年	2005年	2010年	2015年
専業農家数	35	41	46	47	44	53
第一種兼業農家数	79	50	32	91	64	29
第二種兼業農家数	194	157	120	124	100	69
自給的兼業農家数	173	183	186	76	88	99
総農家数	481	431	384	338	296	250

出典：2005・2010・2015年農林業センサス結果

③農林業経営体数

(経営体数)

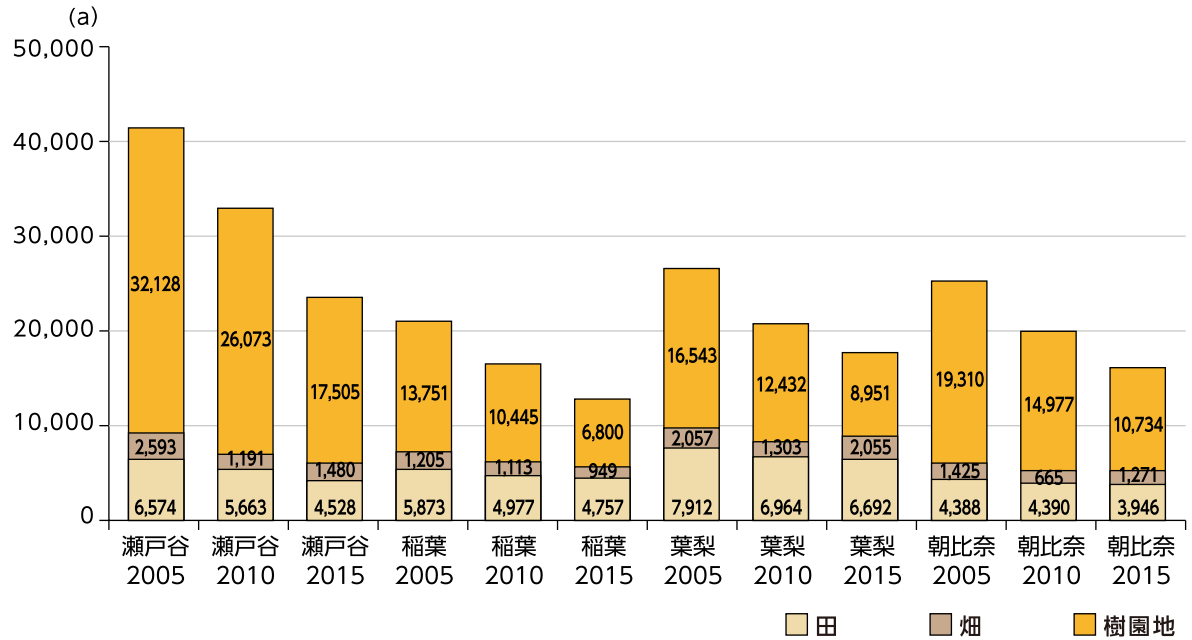


区分	市全体			瀬戸谷地区			稲葉地区		
	2005年	2010年	2015年	2005年	2010年	2015年	2005年	2010年	2015年
家族経営体数	2,226	1,826	1,421	314	245	176	191	147	106
法人経営体数	21	13	17	8	3	3	0	1	2
合 計	2,247	1,839	1,438	322	248	179	191	148	108

区分	葉梨地区			朝比奈地区		
	2005年	2010年	2015年	2005年	2010年	2015年
家族経営体数	308	256	212	262	210	154
法人経営体数	2	0	0	3	2	2
合 計	310	256	212	265	212	156

出典：2005・2010・2015年農林業センサス結果

④経営耕地面積



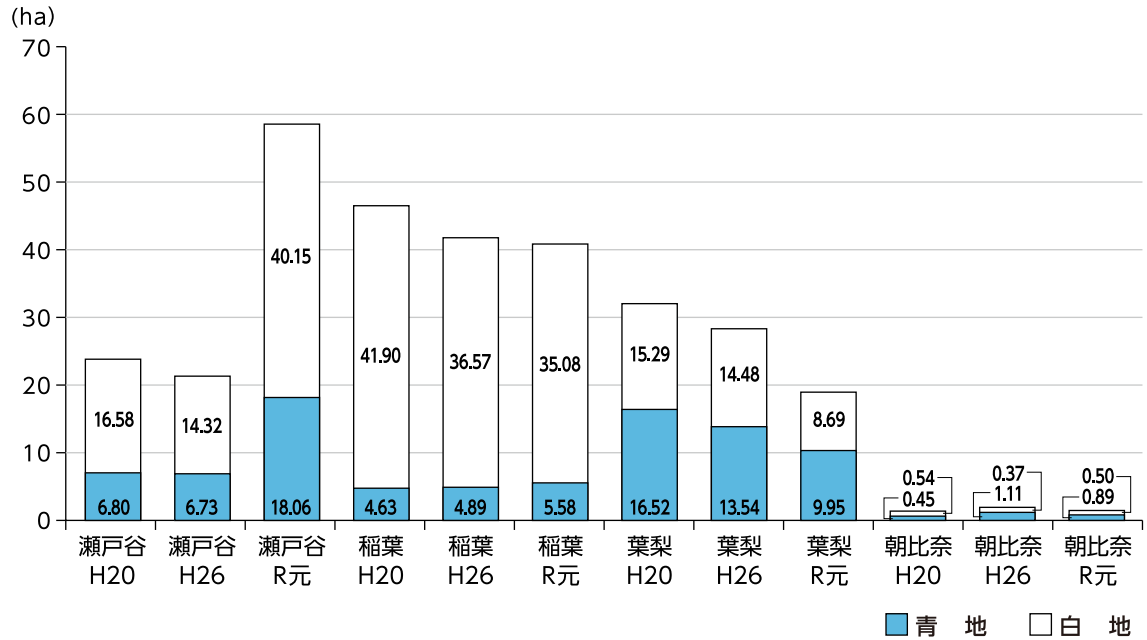
(単位：a)

区分	市全体			瀬戸谷地区			稲葉地区		
	2005年	2010年	2015年	2005年	2010年	2015年	2005年	2010年	2015年
田	82,995	71,609	65,050	6,574	5,663	4,528	5,873	4,977	4,757
畑	11,252	7,470	9,206	2,593	1,191	1,480	1,205	1,113	949
樹園地	103,286	80,406	56,941	32,128	26,073	17,505	13,751	10,445	6,800
合 計	197,533	159,485	131,197	41,295	32,927	23,513	20,829	16,535	12,506

区分	葉梨地区			朝比奈地区		
	2005年	2010年	2015年	2005年	2010年	2015年
田	7,912	6,964	6,692	4,388	4,390	3,946
畑	2,057	1,303	2,055	1,425	665	1,271
樹園地	16,543	12,432	8,951	19,310	14,977	10,734
合 計	26,512	20,699	17,698	25,123	20,032	15,951

出典：2015年農林業センサス結果

⑤耕作放棄地面積



(単位: ha)

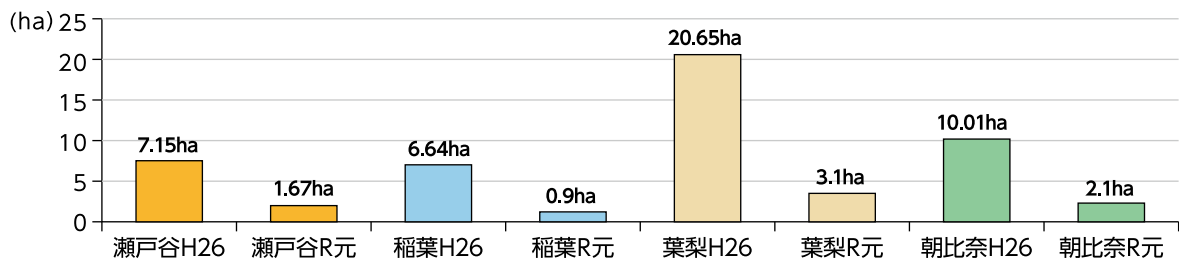
区分	市全体			瀬戸谷地区			稲葉地区		
	平成20年	平成26年	令和元年	平成20年	平成26年	令和元年	平成20年	平成26年	令和元年
青 地	57.88	52.52	50.94	6.80	6.73	18.06	4.63	4.89	5.58
白 地	150.41	148.95	125.04	16.58	14.32	40.15	41.90	36.57	35.08
合 計	208.29	201.47	175.98	23.38	21.05	58.21	46.53	41.46	40.66

区分	葉梨地区			朝比奈地区		
	平成20年	平成26年	令和元年	平成20年	平成26年	令和元年
青 地	16.52	13.54	9.95	0.45	1.11	0.89
白 地	15.29	14.48	8.69	0.54	0.37	0.50
合 計	31.81	28.02	18.64	0.99	1.48	1.39

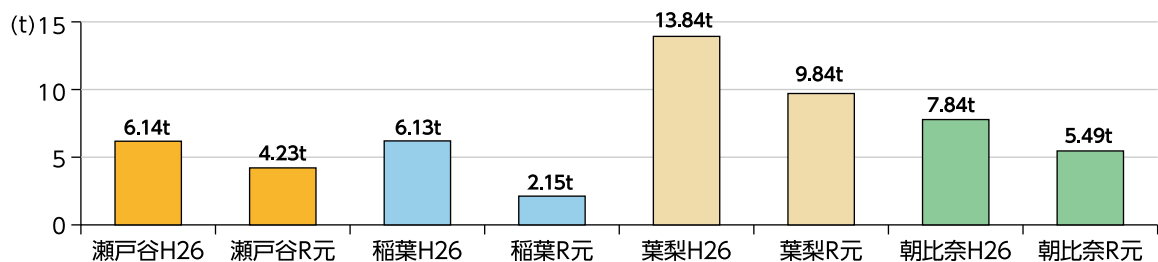
出典: 令和元年農地利用状況調査

※青地: 国有地である水路や河川敷 白地: 公図の上で地番が付されていない国有地

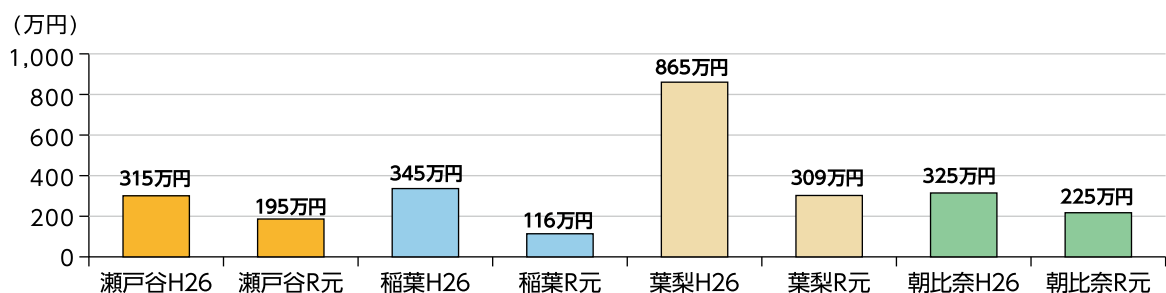
⑥鳥獣害被害面積



鳥獣害被害量



鳥獣害被害額



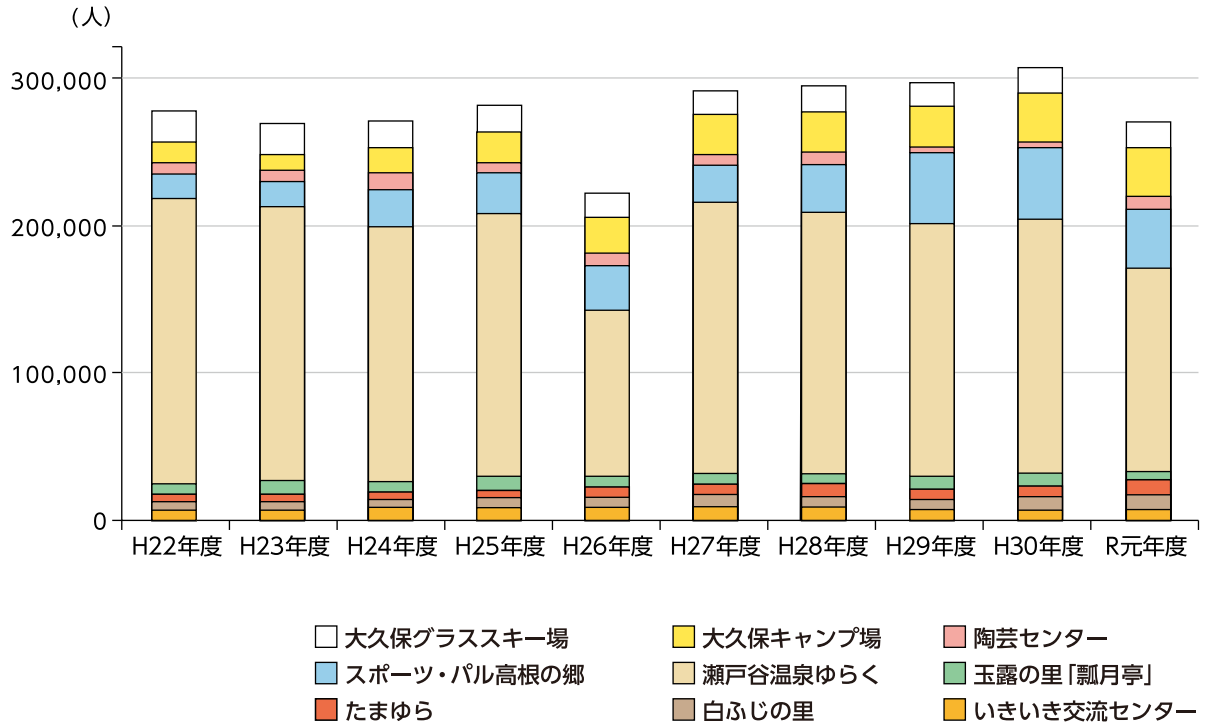
区分	市全体		瀨戸谷地区	
	平成26年	令和元年	平成26年	令和元年
面積	51.08ha	11.27ha	7.15ha	1.67ha
被害量	45.122t	26.872t	6.14t	4.23t
被害額	21,673,000円	1,262,500円	3,147,378円	1,950,000円

区分	稲葉地区		葉梨地区		朝比奈地区	
	平成26年	令和元年	平成26年	令和元年	平成26年	令和元年
面積	6.64ha	0.9ha	20.65ha	3.1ha	10.01ha	2.1ha
被害量	6.13t	2.15t	13.84t	9.84t	7.84t	5.49t
被害額	3,448,177円	1,160,000円	8,650,442円	3,090,000円	3,250,950円	2,250,000円

出典：令和元年鳥獣害被害調査結果

3 中山間地域活性化施設等の利用状況

利用者数

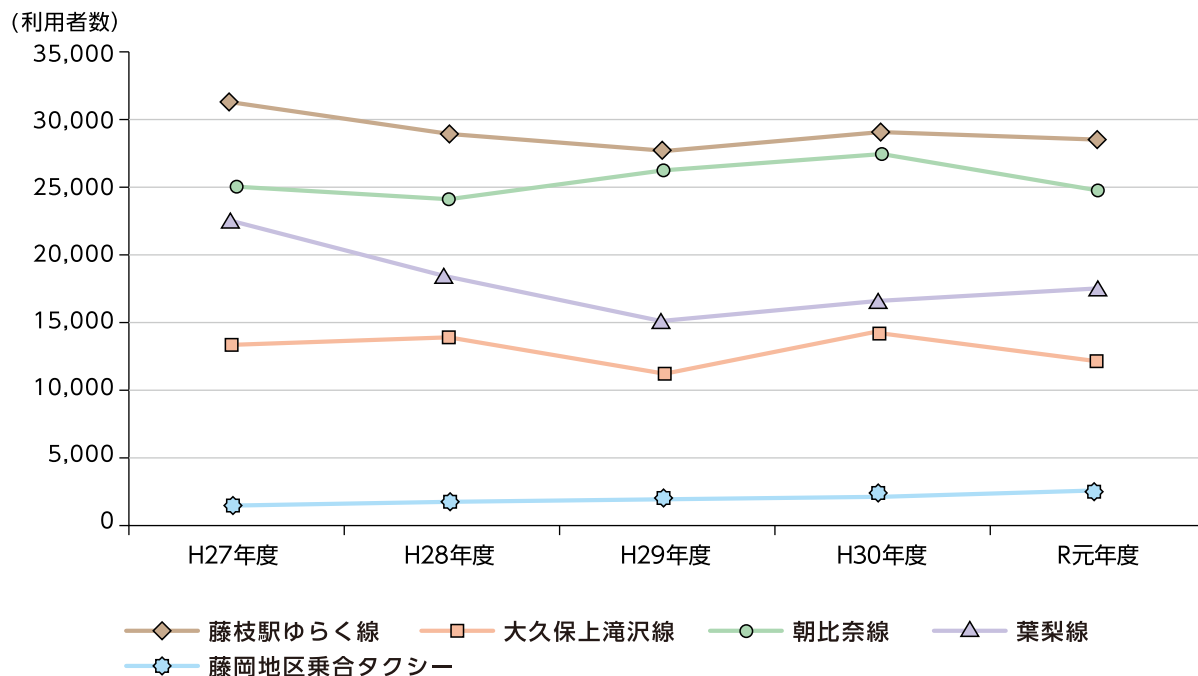


区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
大久保グラススキー場	6,448人	6,992人	7,550人	8,640人	8,032人
大久保キャンプ場	5,872人	6,060人	6,120人	7,502人	7,329人
陶芸センター	4,717人	4,941人	5,258人	5,265人	6,265人
スポーツ・パル高根の郷	7,088人	6,926人	6,973人	6,722人	6,352人
瀬戸谷温泉ゆらく	193,709人	186,726人	173,688人	179,504人	115,822人
玉露の里「瓢月亭」	18,108人	18,349人	24,979人	25,855人	27,927人
たまゆら	6,268人	7,098人	10,499人	7,764人	9,316人
白ふじの里	13,460人	9,649人	17,555人	21,523人	23,970人
いきいき交流センター	20,919人	20,751人	17,217人	16,835人	16,372人
合 計	276,589人	267,492人	269,839人	279,610人	221,385人

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
大久保グラススキー場	7,918人	7,913人	6,618人	6,365人	6,044人
大久保キャンプ場	9,082人	7,814人	6,950人	9,106人	10,693人
陶芸センター	6,672人	7,471人	7,721人	7,476人	9,607人
スポーツ・パル高根の郷	8,668人	8,105人	7,898人	8,358人	6,689人
瀬戸谷温泉ゆらく	182,274人	177,566人	171,731人	171,947人	134,809人
玉露の里「瓢月亭」	25,855人	32,048人	47,500人	47,670人	39,686人
たまゆら	6,237人	7,405人	5,206人	5,927人	8,529人
白ふじの里	28,379人	29,182人	27,301人	31,015人	33,560人
いきいき交流センター	16,557人	16,821人	15,663人	18,301人	16,599人
合 計	291,642人	294,325人	296,588人	306,165人	266,216人

4 自主運行バス等の利用状況

自主運行バス等の利用状況



※ 出かけっCARサービス(瀬戸谷・葉梨)は令和元年度～

路線名等	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
藤枝駅ゆらく線	31,303人	28,680人	27,556人	29,017人	28,478人
大久保上滝沢線	13,637人	13,887人	11,300人	14,457人	12,137人
朝比奈線	25,287人	24,376人	26,506人	27,608人	25,109人
葉梨線	21,988人	18,285人	14,990人	16,339人	17,188人
藤岡地区乗合タクシー	1,724人	1,969人	2,114人	2,341人	2,595人
出かけっCAR(瀬戸谷)					57人
出かけっCAR(葉梨)					82人
合 計	93,939人	87,197人	82,466人	89,762人	85,646人

2 市民アンケート結果

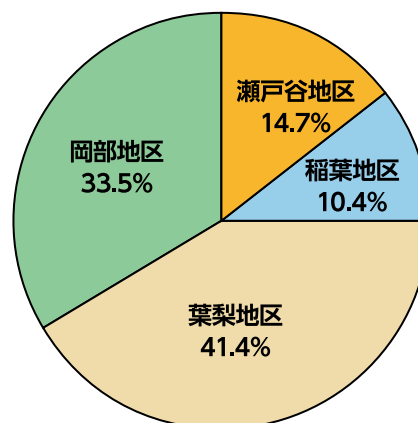
本調査は、令和3年度から10年間の「第2次藤枝市中山間地域活性化基本計画」の策定にあたり、本市の施策に対する市民の声を聞き、今後の中山間地域の活性化への方向性を定めるための基礎資料とすることを目的に実施しました。

- 調査対象：瀬戸谷・稲葉・葉梨・岡部地区に居住する16歳以上の方
- 調査期間：令和2年2月～4月
- 調査方法：郵送等による配布・回収

配布数	回収数	回収率
700	307	43.8%

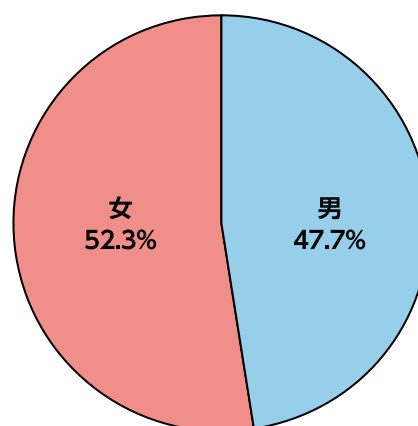
●回答者の居住地区

地区	回答数	構成比 (%)
瀬戸谷地区	45	14.7
稲葉地区	32	10.4
葉梨地区	127	41.4
岡部地区	103	33.5
合計	307	100.0



●回答者の性別

性別	回答数	構成比 (%)
男	144	47.7
女	158	52.3
合計	302	100.0

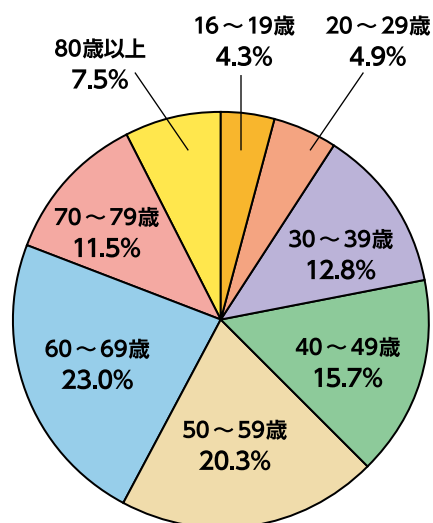


※無回答・無効票の5票を除く

● 回答者の年齢

年齢	回答数	構成比 (%)
16～19歳	13	4.3%
20～29歳	15	4.9%
30～39歳	39	12.8%
40～49歳	48	15.7%
50～59歳	62	20.3%
60～69歳	70	23.0%
70～79歳	35	11.5%
80歳以上	23	7.5%
合計	305	100.0%

※無回答・無効票の2票を除く

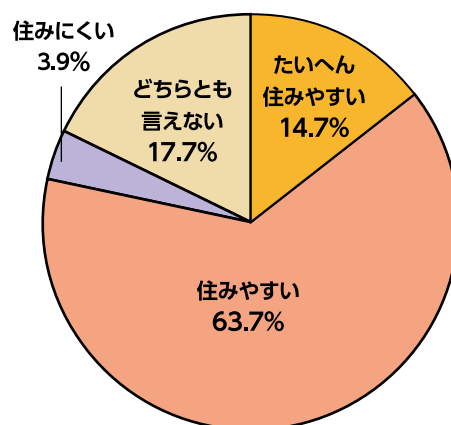


● 藤枝市の住みやすさ

「たいへん住みやすい」と「住みやすい」と答えた人を合わせて78.4% (240人) となっており、5年前と比較し、11.2%増加しています。

住みやすさ	回答数	構成比 (%)
たいへん住みやすい	45	14.7
住みやすい	195	63.7
住みにくい	12	3.9
たいへん住みにくい	0	0.0
どちらとも言えない	54	17.7
合計	306	100.0

※無回答・無効票の1票を除く

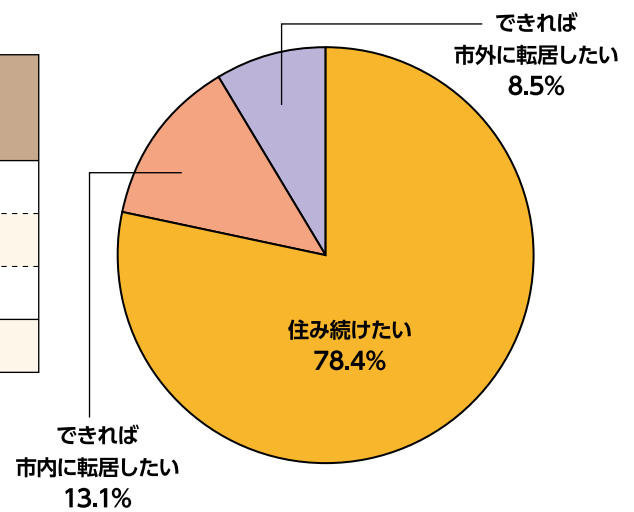


●今後の定住意向

現在の場所に「住み続けたい」と答えた人は78.4%（239人）となっており、5年前と比較し、2.0パーセント増加しています。

定住意向	回答数	構成比 (%)
住み続けたい	239	78.4
できれば市内に転居したい	40	13.1
できれば市外に転居したい	26	8.5
合計	305	100.0

※無回答・無効票の2票を除く



●重要度・満足度・重点度

今後、重点的に取り組む分野等を検討するため、施策項目ごとに「満足度」「重要度」の回答をもとに加重平均を算出しました。また、「満足度」と「重要度」の差による「重点度」についても示します。

順位	項 目	重要度	満足度	重点度
1	公共交通機関の利便性	1.27	-0.89	2.16
2	地震・水害・火災など災害に強いまちづくり	1.60	-0.25	1.85
3	高齢者が生活しやすい環境づくり	1.43	-0.28	1.71
4	生活に密着した道路の整備と維持管理	1.20	-0.32	1.52
5	保育の充実や子育ての支援	1.48	0.01	1.47
6	農地・森林の保全・整備や経営の安定化など農林業の振興	1.04	-0.41	1.45
7	犯罪防止対策	1.41	0.01	1.40
8	地球環境対策や自然環境の保全	1.27	-0.01	1.28
9	小・中学校教育の充実	1.37	0.15	1.22
10	企業の支援や誘致などの産業振興	0.90	-0.24	1.14
11	良好な居住環境の整備	1.16	0.03	1.13
12	地域資源を活かした観光の振興	0.78	-0.25	1.03
13	女性活躍の推進	0.69	-0.08	0.77
14	安定した水道水の供給	1.50	0.74	0.76
15	地域のコミュニティ活動の推進	0.66	0.00	0.66
16	心地よい景観の形成	0.75	0.17	0.58
17	文化活動の支援	0.55	0.15	0.40

※満足度は、「満足」2点、「やや満足」1点、「わからない」0点、「やや不満」-1点、

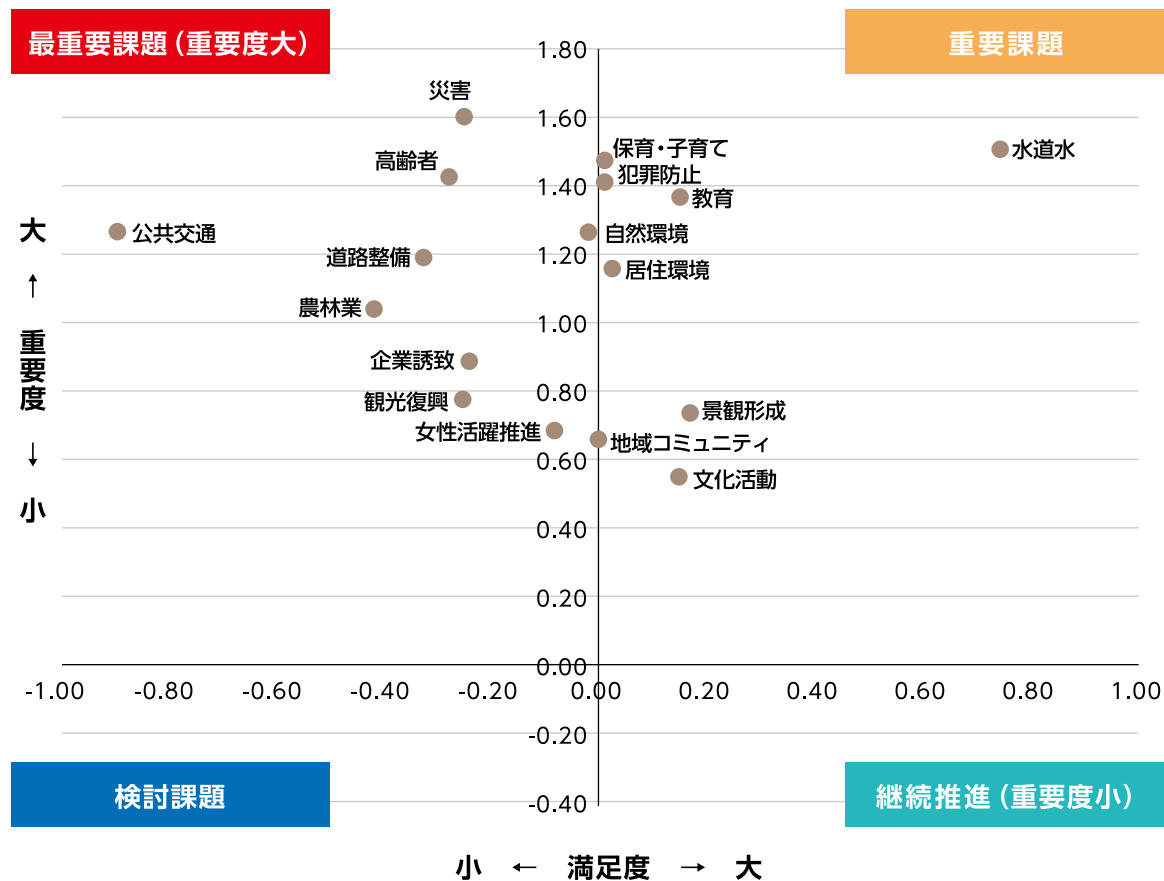
「不満」-2点として各回答数を掛け、総数に対する割合として算出

※重要度は、「重要」2点、「やや重要」1点、「わからない」0点、「あまり重要ではない」

-1点、「重要ではない」-2点として各回答数を掛け、総数に対する割合として算出

※この算出方法により、評価点は2点～-2点に分布し、中間点の0点を境に、2点に近くなるほど満足度、重要度が高くなり、-2点に近くなるほど満足度、重要度が低くなる

全項目の総体的な位置づけがわかるよう、「満足度」「重要度」を軸として図表化し、各項目の評価を実施しました。



●課題が多く重点的に推進すべき項目

- ・公共交通機関の利便性
- ・地震・災害・火災など災害に強いまちづくり
- ・高齢者が生活しやすい環境づくり
- ・生活に密着した道路の整備と維持管理
- ・農地・森林の保全・整備や経営の安定化など農林業の振興
- ・企業の支援や誘致などの産業振興
- ・地域資源を活かした観光の振興
- ・女性活躍の推進

●継続的に満足度が得られるよう推進すべき項目

- ・保育の充実や子育ての支援
- ・犯罪防止対策
- ・地球環境対策や自然環境の保全
- ・小・中学校教育の充実
- ・良好な居住環境の整備
- ・安定した水道水の供給
- ・地域のコミュニティ活動の推進
- ・心地よい景観の形成
- ・文化活動の支援

●人口減少を抑制する対策として必要だと考えられるもの（複数回答（3つまで））

「働きながら子育てできる環境の整備」が一番多く21.1%であり、次いで「医療・福祉サービスの充実」が13.0%となっています。

選択肢	はい	
	回答数	構成比(%)
働きながら子育てできる環境の整備	174	21.1
医療・福祉サービスの充実	107	13.0
雇用機会の創出（企業誘致）	82	10.0
交通の利便性の向上	80	9.7
安全で安心して暮らせる環境の整備	63	7.7
住宅地の整備促進	49	6.0
新たな土地利用や都市開発等の推進	44	5.3
市外からの移住の促進	43	5.2
住宅取得の支援	33	4.0
小中学校での特徴ある教育の実施	31	3.8
地域資源を活かした産業振興	28	3.4
大学、専門学校など高等教育の充実	25	3.0
地域コミュニティの育成	18	2.2
健康促進・介護予防の促進	16	1.9
郷土愛やふるさと意識の醸成	13	1.6
外国人の転入促進	10	1.2
その他	7	0.9

※無効票・無回答の30票を除く

3 計画策定経過

令和元年度		
令和2年	2月	市民アンケート実施
令和2年度		
令和2年	5月	策定方針の決定
	6月	地区別ワークショップ(瀬戸谷地区)
		地区別ワークショップ(葉梨地区)
		地区別ワークショップ(朝比奈地区)
		地区別ワークショップ(稲葉地区)
	8月	庁内策定作業部会
	10月	庁内策定委員会
	12月～1月	パブリックコメント実施
令和3年	3月	第2次藤枝市中山間地域活性化基本計画決定

4 地区別ワークショップ参加者名簿

(1) 瀬戸谷地区

(敬称略・順不同)

氏 名	備 考
勝治 松雄	瀬戸谷第1自治会長
奥川 準造	瀬戸谷第2自治会長
飯塚 保久	瀬戸谷第3自治会長
大橋 伸章	瀬戸谷いきいきフォーラム 会長
小田 稔彦	瀬戸谷活性化協議会 会長
望月 綾	さとやママ
小田 恭佑	若者代表
服部 開介	藤枝市地域おこし協力隊

(2) 稲葉地区

(敬称略・順不同)

氏 名	備 考
成島 正明	稲葉第1自治会長
石神 聡	稲葉第2自治会長
大塚 克明	助宗ひだまり倶楽部 会長
新村 杏奈	さとやママ
澤山 千樹	若者代表
能津 遊来	藤枝市地域おこし協力隊

(3) 葉梨地区

(敬称略・順不同)

氏 名	備 考
鈴木 敬一	葉梨第 1 自治会長
勝又 實	葉梨第 2 自治会長
渡辺 伸一郎	葉梨第 3 自治会長
池田 功	葉梨第 4 自治会長
海野 博	北方町内会長
池谷 三夫	白藤町内会長
小澤 新吾	西方町内会長
増田 美司	花倉町内会長
海野 一博	白ふじの里実行委員会 会長
シベストロン 敦子	さとやママ
杉本 悠太郎	若者代表
石川 紗彩	藤枝市地域おこし協力隊

(4) 朝比奈地区

(敬称略・順不同)

氏 名	備 考
浦山 文栄	岡部第 5 自治会長
浮島 豊壽	玉取むらづくり会議 会長
猪熊 優子	朝比奈ちまき保存会
池野 弘子	地域代表
小澤 貴子	さとやママ
清水 希美	若者代表
杉本 哲也	藤枝市地域おこし協力隊

5 用語解説

アルファベット

- AI
Artificial Intelligence (人工知能)。人工的な方法による学習、推論、判断等の知的な機能の実現及び人工的な方法により実現した当該機能の活用に関する技術。
- GIS
Geographic Information System (地理情報システム)。コンピュータ内に地理情報を取り込み、それを活用するシステムのこと。
- ICT
Information Communication Technology (情報伝達技術)。通信技術を活用したコミュニケーションを指す。情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスの総称。
- IoT
Internet of Things (モノのインターネット化)。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットに繋がり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化が進展し、新たな付加価値を生み出すというコンセプトのこと。
- PDCAサイクル
事業を立案・計画する。事業を実施する。事業の効果検証・評価する。事業を改善し反映させる。以上のような一連の流れで事業を市民のニーズに応える質の高いサービスにすること。

ア行

- 空き家バンク
中山間地域内にある空き家所有者が「賃貸」又は「売買」したいという物件について、市が物件の所在地や間取りなどの情報を登録し、ホームページなどを通して移住希望者に物件の情報を提供し、マッチングを支援する制度のこと。

- インバウンド
外国人が日本に訪れる旅行のこと。
- エリアマネジメント
特定のエリアを単位に、民間が主体となって、まちづくりや地域経営(マネジメント)を積極的に行う取り組みのこと。
- オンデマンド交通
利用者が事前に予約することで、その都度、それに合わせて運行する地域の公共交通のこと。「デマンド交通」とも言われる。

カ行

- クラウドソーシング
群衆を意味するクラウドと外部委託を意味するアウトソーシングを合わせた造語で、インターネットを介して不特定多数の人に業務参加やアイデアを募集し、最もニーズに合った人材に業務を委託する外部委託の形式のこと。
- グリーン・ツーリズム
都市の人々が、ふるさとの安らぎを求めて農山漁村などの田舎を訪れ、その自然や文化に触れながら、農林業の体験や地元の人々との交流を通じて心身をリフレッシュしようとする滞在型の余暇活動のこと。
- 耕作放棄地
高齢化・過疎化による人手不足で過去1年間耕作されたことがなく、今後数年の間に再び耕作する意思のない農地・有休農地のこと。
- コミュニティ
人々が共同団体意識を持って共同生活を営む一定の地域およびその人々の集団。地域社会。共同体のこと。
- コミュニティスクール
学校運営や学校の課題に対して、学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、協議し、一緒に協働しながら子ども達の豊かな成長を支え、「地域と共にある学校づくり」を進める仕組みのこと。

サ行

●水源かん養

森林の土壌が、雨水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を防止する機能のこと。また、貯留された雨水が森林の土壌を通過する際、水質が浄化される機能も含まれる。

●スマート農業

ロボット技術やICT（情報通信技術）を活用して、省力化・精密化や高品質生産の実現を推進する農業のこと。

●自主運行バス

既存のバスサービスを補完しつつ、交通不便地域における市民生活の利便性の向上、高齢者や障害のある人などの生活支援などを目的として自治体などがバス事業者に代わって運行するバスのこと。

●成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力の不十分な方について、不動産や預貯金の管理、介護サービスや施設への入所の契約、遺産分割の協議などの面において保護・支援する制度のこと。

タ行

●多面的機能

国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承等の食料その他の農産物の供給の機能以外の多面にわたる機能のこと。

●デマンド型乗合タクシー

ドア・ツー・ドアの送迎を行うタクシーに準じた利便性と、乗合・低料金というバスに準じた特徴を兼ね備えた予約制の移動サービスのこと。

●天空の回廊

藤枝市瀬戸谷、島田市伊久美、島田市川根町をつなぐ地域の愛称のこと。

ナ行

●認定農業者

農業経営基盤強化促進法に基づく市が策定した基本構想に沿った農業経営改善計画を策定し認定を

受けた農業者のこと。

●農商工連携

農林水産業者と商工業者がそれぞれの有する経営資源を互いに持ちより新商品・新サービスの開発等に取り組むこと。

●農福連携

高齢者や障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みのこと。

ハ行

●光ファイバ網

光信号を使ったインターネット回線。光信号を使ってデータ通信をしているため、非常に速い速度でのやり取りが可能。また、通信損失が少なく、外部からのノイズにも強いいため、安定した通信が可能。

●藤枝版ローカルSDGs

令和2年3月に策定された「第2期ふじえだ健康都市創生総合戦略」において示されているSDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けて、藤枝市として取り組み、その達成を目指す本市独自の17の目標。

●ブランディング

企業や商品、サービスなどの「らしさ」を時代やニーズなどを捉えながら、ビジュアルや体験を通して外部に伝え、認知を図ること。

●ふれあいサロン

高齢者が住み慣れた地域で日常的に集まり、地域ボランティアとともにゲームやレクリエーションを楽しむ集まりのこと。

マ行

●まち美化里親制度

まち美化活動に意欲を持つ市民や企業などが「里親」となり、公共施設（公園・道路・河川など）を養子に見立て、我が子を育てるように清掃や美化活動を行う制度のこと。

ヤ行

●優良田園住宅

優良田園住宅とは、農山村地域、都市の近郊その他の良好な自然的環境を形成している地域に所在する一戸建ての住宅で次の①～④の基準を満たすものをいう。

- ① 敷地面積 300㎡以上
- ② 建ぺい率 30%以下
- ③ 容積率 50%以下
- ④ 3階建て以下

ラ行

●6次産業

農山漁村が生産（1次産業）だけでなく食品加工（2次産業）流通販売（3次産業）にも主体的、総合的に関わり合うことで高付加価値化を図ること。

ワ行

●ワーケーション

「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語で、観光地やリゾート地でテレワークを活用して、働きながら休暇を取る過ごし方のこと。



稲葉地区から望む富士山



白藤の滝



殿地区のコスモス



葉梨西北地区のホタル



稲葉のとうろん



本郷地区のひまわり



蔵田地区の茶園



滝ノ谷不動峡



第2次藤枝市中山間地域活性化基本計画

発行年月：令和3年3月

発行：藤枝市（産業振興部 商業観光局 中山間地域活性化推進課）

住所：〒426-0132 静岡県藤枝市本郷876（藤の瀬会館内）

T E L：054-639-0120

F A X：054-648-2755

E-mail：chusankan@city.fujieda.lg.jp

